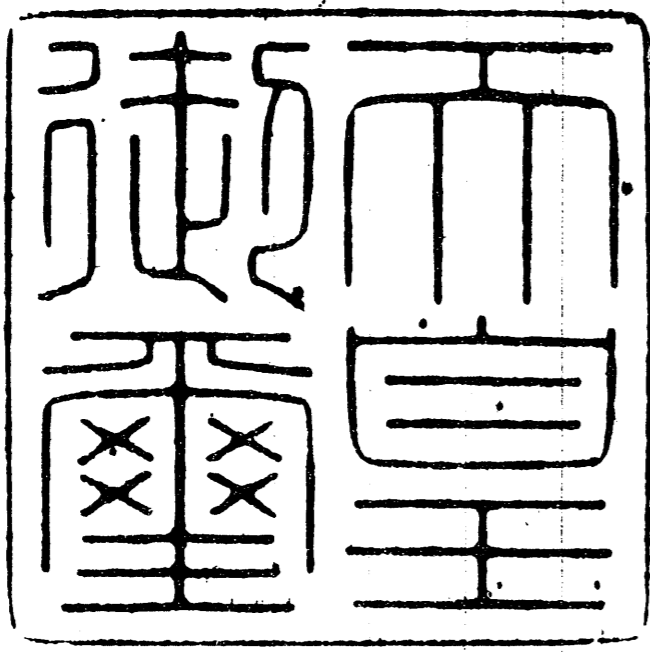


勅令第五百七十七號

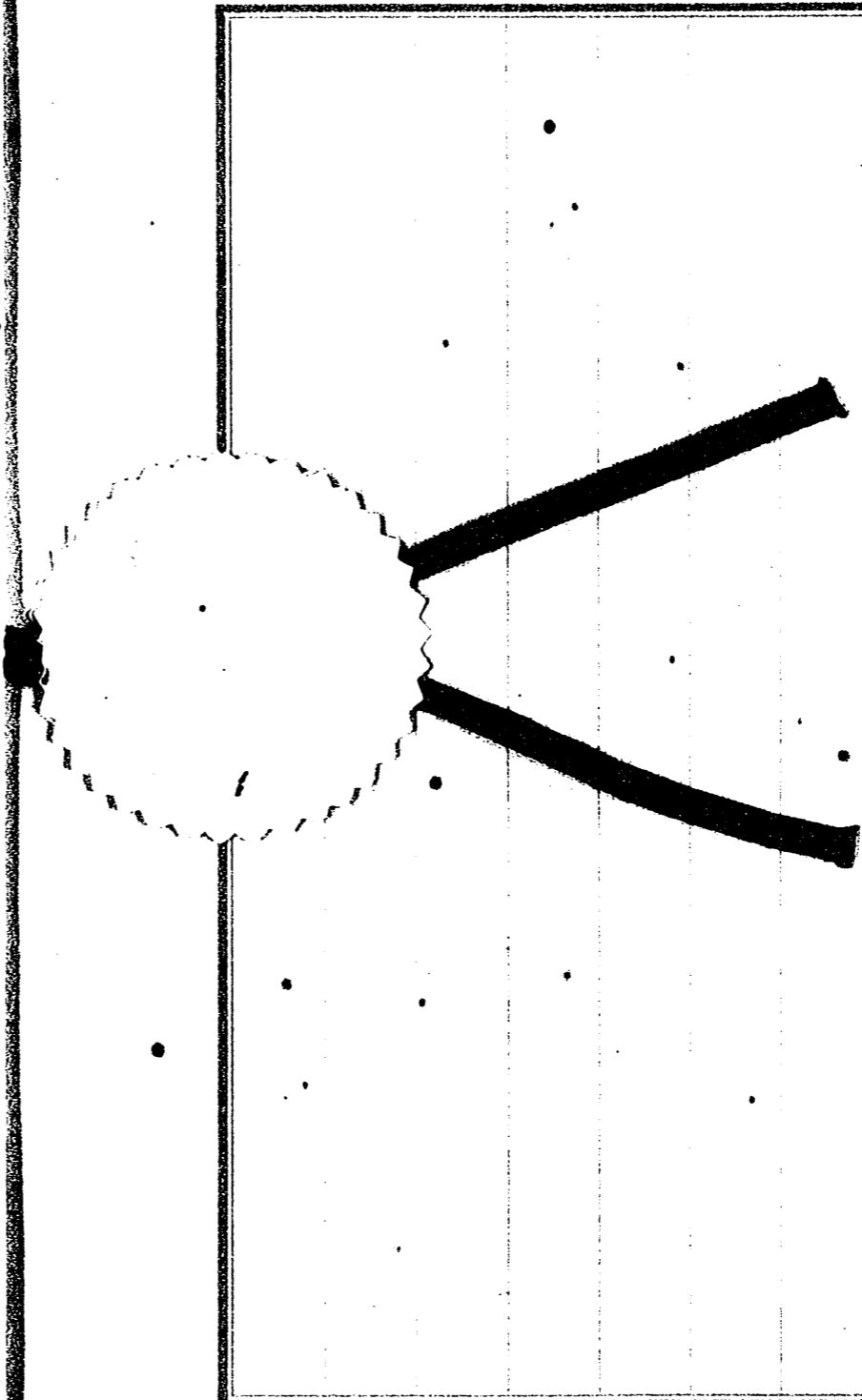
朕字都宮陸軍飛行學校令ヲ裁可
シ茲ニ之ヲ公布セシム

裕仁



昭和十五年九月十三日

内閣總理大臣 近衛文彦
陸軍大臣 東條英機



勅令第五百七十七號

宇都宮陸軍飛行學校令

- 第一條 宇都宮陸軍飛行學校ハ飛行機操縦ニ従事スル少年飛行兵及少年飛行兵ト爲スベキ生徒ヲ教育スル所トス
- 第二條 生徒ハ東京陸軍航空學校ヲ卒業シタル者ヲ以テ之ニ充テ飛行機操縦ニ従事スル少年飛行兵タルニ必要ナル學術ヲ修習セシム
- 通常毎年二回入校セシノ其ノ修學期間ハ概ネ一年トス
- 第三條 陸軍大臣ハ臨時ニ兵科（憲兵ヲ除ク）將校以下ヲ召集シ必要ノ修學ヲ爲サシムルコトヲ得
- 第四條 生徒ノ教育綱領ハ陸軍航空總監之ヲ定ム
- 第五條 生徒ノ教育ノ實施ハ教則ニ依ル其ノ教則ハ前條ノ教育綱領

内閣

ニ基キ陸軍航空總監ノ認可ヲ受ケ校長之ヲ定ム

第六條 少年飛行兵、生徒及第三條ノ規定ニ依リ召集シタル者ノ教育ヲ行フ爲宇都宮陸軍飛行學校ニ教育隊ヲ置ク

第七條 兵器ノ修理竝ニ少年飛行兵及生徒ノ實習ニ供スル爲宇都宮陸軍飛行學校ニ材料廠ヲ置ク

第八條 陸軍大臣ハ必要ニ應ジ宇都宮陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第九條 宇都宮陸軍飛行學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長

幹事

副官

學校附

教育隊長

教育隊副官

教育隊中隊長

教育隊附

材料廠長

材料廠附

准士官、下士官及判任文官

分教所ヲ置キタル場合ニ於テハ分教所長ハ將校タル前項ノ職員ヲ以テ之ニ充ツ

第十條 校長ハ陸軍航空總監ニ隸シ校務ヲ總理ス

陸軍

陸軍

- 第十一條 幹事ハ校長ヲ輔佐シ校務ヲ整理シ教育ノ統ヲ圖ル
- 第十二條 副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル
- 第十三條 學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各擔任ノ業務ヲ掌ル
- 第十四條 教育隊職員ノ服務ニ付テハ軍隊内務ノ定則ヲ準用ス
- 第十五條 教育隊長ハ校長ノ命ヲ承ケ教育ヲ掌理ス
- 第十六條 教育隊中隊長ハ教育隊長ノ命ヲ承ケ教育ヲ擔任ス
- 第十七條 教育隊附ハ上官ノ命ヲ承ケ各擔任ノ業務ヲ掌ル
- 第十八條 材料廠長ハ校長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ掌ル
- 第十九條 材料廠附ハ材料廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ分擔ス
- 第二十條 准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ教育ヲ補助シ又ハ技術若ハ事務ニ従事ス

- 第二十一條 第三條ノ規定ニ依リ召集スル者ノ人員、召集期日及召集期間ハ陸軍大臣之ヲ告達ス
- 第二十二條 前條ノ告達アリタルトキハ所管長官（陸軍航空本部長及陸軍航空本部長所轄ノ官衙ニ在リテハ陸軍航空本部長）ハ修學ニ適當ナル者ヲ選定シ召集期日前ニ其ノ所屬部隊、官等級及氏名ヲ陸軍大臣及陸軍航空總監ニ報告又ハ通報スベシ
- 第二十三條 生徒ハ校内ニ居住セシム
少年飛行兵及生徒ノ修學ニ要スル兵器、被服、圖書、器具、消耗品等ハ之ヲ貸付シ又ハ支給スルコトヲ得
- 第二十四條 生徒ハ總テ校長ノ管理ニ屬ス
- 第二十五條 生徒ハ情願ヲ以テ退校スルコトヲ得ズ

第二十六條 生徒左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ退校セシム

一 軍紀ヲ紊リ又ハ屢法則ヲ犯ス者

二 品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者

三 學術ノ成績不良ニシテ卒業ノ目途ナキ者

四 傷痍疾病ニ因リ修學ニ堪ヘザル者

五 前各號ノ外少年飛行兵タルニ適セズト認ムル者

第二十七條 生徒中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ修學期間内ニ所定ノ學術ヲ修メ得ザル者ニシテ尙望アリト認ムルモノハ之ヲ所要ノ期間滯學セシメ又ハ次期ノ生徒ト爲スコトヲ得

第二十八條 前二條ノ規定ニ該當スル者アルトキハ校長其ノ事由ヲ具シ陸軍航空總監ヲ經テ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ處理ス

第二十九條 校長ハ生徒卒業ノ期ニ至リタルトキハ其ノ修業成績書ヲ調製シ之ヲ陸軍航空總監ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ卒業者ニ卒業證書ヲ付與ス

滯學セシメラレタル生徒修學ヲ終リタルトキハ前項ノ規定ニ準ジ之ヲ取扱フモノトス

第三十條 校長ハ生徒ニ毎年三週間以内ノ休暇ヲ與フルコトヲ得

第三十一條 校長ハ校務上便宜ノ時期ニ於テ職員ニ隊附勤務ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十二條 校長ハ教育上必要アルトキハ教育總監、軍司令官、師團長又ハ飛行集團長ニ稟議シ其ノ學校又ハ軍隊ヲ使用スルコトヲ得

内
閣

附則

本令ハ昭和十五年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

内

閣